

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 2 3 回 相模原市地域交通活性化協議会		
事務局 (担当課)		まちづくり推進部 交通政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 9 (直通)		
開催日時		令和 7 年 9 月 2 4 日 (水) 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 3 0 分		
開催場所		相模原市立産業会館 3 階 大研修室		
出席者	委 員	2 0 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	7 人 (交通政策課総括主幹 2 人、外 5 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 協議事項 (1) 新しい交通計画の策定について 3 報告事項 (1) 中山間地域における交通再編について (2) 相模原市総合都市交通計画の一部見直しについて (3) 令和 8 年度実施予定事業について (4) その他 4 その他 5 閉会		

議 事 の 要 旨

1 開 会

2 協議事項

(1)新しい交通計画の策定について

協議事項について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(渡邊委員) 成果指標について、市内交通事故件数はどのように集計しているのか。また、市内3拠点の滞在時間については概ね減少しているとのことだが、より長く滞在することが望ましい指標なのか。

(事務局) 市内交通事件数は神奈川県警察が公開している数字である。また、市内3拠点の滞在時間は賑わいづくりの観点から設定している指標であり、より長いことが望まれ、今後何らかのテコ入れが必要であると考ええる。

(石原委員) 上位計画の立地適正化計画の考え方について、新しい交通計画に落とし込むことは検討するのか。

(事務局) 具体的に落とし込む内容は未定であるが、今後、立地適正化計画の担当と調整しながら検討を進めていく。

(生田委員) 公共交通利用分担率については、J Rも含めた数字なのか。また、中山間地域と都市部では公共交通の充実度合が異なるため、一律の基準としないほうがよいかもしれない。

(事務局) 公共交通利用分担率はJ Rも含めた数字である。ご指摘のとおり中山間地域と都市部では状況が異なるため、地域によって指標を分けることも検討する。

(青山委員) 立地適正化計画に関連して、都市拠点や居住誘導のビジョンと公共交通は相互に関連している。立地適正化計画は5年に一度の評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときには、変更するものとされており、相模原市でも近く改定されると思われるが、地域交通活性化協議会で立地適正化計画の改定内容やスケジュールの共有をしている地域もあるため、本協議会でも情報提供いただけるとよい。

(事務局) 相模原市の立地適正化計画は、市の総合計画や都市計画マスタープランとタイミングを合わせて令和9年度の改定を予定しており、新しい交通計画の策定とも同時期である。立地適正化計画の改定の状況については、都度共有させていただく。

(長澤委員) 12月に予定している現行の交通計画の一部改定では、バスネットワークについて、作業部会を設置して、相当丁寧にバス事業者等と調整をしたものと承知しているが、新しい交通計画の策定は、交通を取り巻く全てを扱う抜本的で大きな見直しとなる見込みであり、タクシーや鉄道事業者等とも同様の調整が必要である

が、どのような体制で取り組んでいくのか。また、福祉や教育等交通以外の分野との市役所の中での検討体制は。更に、市民意見はどのように取り入れていくのか。

(事務局) 具体的な部会の設置は未定だが、様々な事業者からご意見を伺っていく。庁内の調整も、縦割りではなく横断的な体制で調整する。市民意見については、パブリックコメントや地域交通活性化協議会以外にも、各地区のまちづくり会議等に担当が顔を出しながら意見を伺うなどの方法があると考えており、より細かい地域の意見を拾っていきたい。

(岡村会長) 市民意見については、個別具体の路線やダイヤといった個別の事情までは踏み込まない、もう一つ上の水準の内容を伺うことが想定されるが、多様な地域特性がある中で公共交通の全体像や水準を定めるとなると、それぞれの地域の感覚と違うと受け入れられないものになってしまうため、最初が肝心である。最初はかなり丁寧に詳細なところまで伺っていくとよい。

(結果) 出席委員の全会一致で同意。

3 報告事項

(1) 中山間地域における交通再編について

報告事項について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(岡村会長) 委員の皆様方には非常に短い期間でご検討いただいて、会長としてもお礼を申し上げたい。

(渡邊委員) 10月から実証実験を始める中で運賃徴収について懸念がある。運転士は運転と運賃徴収を一人で行うことになるが、複数地区割引用の半券渡し等もあり、乗客が多数の場合は処理しきれないのではないかと。

(事務局) 運行事業者とはオペレーションも含めて調整を図っている。大きな遅延や課題が顕在化してきた場合は本格運行に向けて調整していく。今後遅れが生じる場合等は改善策を図っていききたい。その際にはご報告させていただく。なお、定時定路線運行について21条許可での実証運行を想定していたが、当面は4条許可にて実施する。

(2) 相模原市総合都市交通計画の一部見直しについて

パブリックコメントの実施について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(意見なし)

(3) 令和8年度実施予定事業について

自動運転実証運行事業の実施について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(渡邊委員) 車両はバスのサイズとなるのか。また、利用対象者をどういったかたちで確保するのか。更に、八王子市における街路樹へ衝突した事故等の事例も参考にして事業に反映するとよい。

(事務局) 車両に関してはバスを視野に入れながらサイズも含めて検討中である。利用対象者については限定していないが、まず子育て世代にアプローチしていく。八王子市の事例はまだ原因が不明であり、発表を待っているところであるが、輸送は安全が第一なので、他の事故事例についてはしっかり捉えていく。

(生田委員) 具体的な実施スケジュールは決定しているのか。

(事務局) 実施スケジュールは検討中である。国庫補助金を受ける予定であるが、例年採択が7月であるので、それ以降に実施することとなる。

(高橋委員) 予算の規模としては何億円と掛かる事業であると思われるが、具体的に定まっているのか。

(長澤委員) 市として実施する方向は決定している。予算はおおむね2月上旬頃に概ね定まるため、その段階でより具体的な内容を報告する。

都市部におけるミニバス（乗合タクシー）運行の実証実験について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(渡邊委員) 相模台と東林の2地区を対象とするのか。また、コミュニティバス要望だが道が狭いために車両を8人乗り程度のものとした場合、需要は十分に満たせるか。更に、令和6年度の料金300円は、210円の初乗り運賃に90円が加算されるということなのか。

(事務局) 令和6年度は相模台地区のみであったが、令和8年度は東林地区も加える。東林地区も以前にコミュニティバス要望があったものの駅からあまり離れていなかったために見送りになったエリアで、2地区で1台のイメージである。需要については令和6年度の実証実験ではもう少し乗るイメージだったが実際には十分に満たせていた。300円はバスとタクシーの初乗り料金の間に設定したものである。

(4) その他

県道 5 2 号における TDM の実施について、資料に基づき事務局より説明を行った。

(渡邊委員) 自転車の交通量 3, 308 台は 12 時間での台数か。また、歩行者用信号の青時間を短縮するということか。

(事務局) 交通量についてはご認識のとおりである。当該交差点では、自転車はほとんどが歩道を走行し歩行者用信号に従っているため、歩行者用信号の青時間を短縮することで自動車の左折時間の延長を図る。

その他意見等

(宮野委員) 中山間地域の乗合タクシーについて、藤野駅から西側の地区では運行していないが、国道 20 号は歩道がなく、また、大型トラックの通行が多いため、歩行者にとって危険であることから、藤野台団地までの運行を検討してもらえないか地域から要望があった。

(事務局) これまでの地域説明会でも同様のご意見を多数いただいている。運行をするとなった場合は既存の運行エリアを広げることとなるが、他地区への影響があるため、地域の方と丁寧に議論しながら検討を進めていきたい。

(橋山委員) 既にバス停での掲示や当社ホームページでご案内しているところであるが、三ヶ木～相模湖駅の路線について 10 月 6 日にダイヤ改正を行うため、ご報告する。

4 その他

事務局より次回以降の協議会開催スケジュールについて報告した。

5 閉会

以 上

相模原市地域交通活性化協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	岡村 敏之	東洋大学 国際学部 国際地域学科 教授		出席
2	梶田 佳孝	東海大学 建築都市学部 土木工学科 教授		欠席
3	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会 常務理事		出席
4	大畠 雄作	一般社団法人神奈川県タクシー協会 相模支部 常任理事		出席
5	吉田 忠司	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社 企画総務部 企画部長	代理出席 企画総務部 経営戦略ユニット 係長 島田 修佑	出席
6	宇野 弘之	東日本旅客鉄道株式会社八王子支社 企画部長		欠席
7	宮原 賢一	小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 交通企画部 部長	代理出席 交通企画部 課長 八山 晋一郎	出席
8	濁澤 雅	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 計画管理部 計画担当 課長	代理出席 主任事務員 野村 圭佑	出席
9	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画担当 課長		出席
10	三浦 裕介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部 乗合事業担当 課長	代理出席 課長補佐 山田 竜矢	出席
11	米山 淳	富士急バス株式会社 業務部次長		欠席
12	青山 琢人	国土交通省関東地方整備局 建政部 都市整備課長		出席
13	宮本 雄一	国土交通省関東地方整備局 相武国道事務所長	代理出席 交通対策課 専門調査官 栗原 功二郎	出席
14	加納 光博	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)		出席

15	馬場 広人	神奈川県警察本部 交通部交通規制課 都市交通対策室長		欠席
16	廣野 修一	神奈川県 県土整備局 都市部 交通政策課 副課長		出席
17	高橋 和彦	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 事務局次長		出席
18	宮野 善三郎	相模原市自治会連合会 副会長		出席
19	布施 昭愛	相模原商工会議所 理事 事務局長		出席
20	小林 輝明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 常務理事		欠席
21	石原 朗	公益社団法人相模原市観光協会 専務理事		出席
22	生田 修	公募市民		出席
23	渡邊 亨	公募市民		出席
24	杉浦 篤	相模原市 都市建設局 土木部長	代理出席 土木部 道路計画課 総括副主幹 生井 大介	出席
25	廣田 信之	相模原市 都市建設局 まちづくり推進部長	代理出席 まちづくり推進部 交通政策課 課長 長澤 孝	出席